五十字劇評NO.75

言わせて！今日の芝居

グレイクリスマス

【20代】

▼あらすじを読み、「難しそうだな。」と思いながらの観劇。まず率直に「感動した。」という感想でした。普段生活している中では考えないことだったので、すごく勉強になりました。（男性）

【40代】

▼ラストで華子さんが日本国憲法を読み上げるシーンが今のこの世の中に向けて言われているように感じました。劇団の方による携帯の電源切ってもらうようにアナウンスされていたのが良かったです。（女性）

【50代】

▼敗戦後に生きる人々の苦労と、その中で生きていく強さと民主主義への希望。脚本の良さと役者の演技力を感じる、とても良いお芝居でした。（女性）

【60代】

▼斎藤憐作では『上海バンスキング』に次ぐ出来。華族の退廃にヴィスコンティの映画を垣間見たといっては言い過ぎか。（男性）

▼見事な脚本。セリフの力。伯爵という身分。男女の差。巧みな人物像。経年の変化。今、観られて良かった。（女性）

【70代】

▼戦後、辛うじて体をなす伯爵家と出入りする異国の人々。皆が生きるために腐心している。緊迫した芝居だ。（女性）

▼高市首相が憲法改悪を掲げる今、ピープル（日本に住むすべての人々）の為の素晴らしい憲法を大切にしなければならないと強く感じました。（女性）

▼これまでなかった再演の力強さ、初演にはなかった群像劇としての面白さに演出の妙を感じた。あらためて憲法の元の自由と民主主義について考えたい。（女性）

▼劇団民藝の方々の訴える力、実力を感じました。戦争の与える影響力の強さを思いました。とてもよかったです。（女性）

▼今回のお芝居のおかげで日本国憲法の書いたクリアファイルが手に入り少し読んだ。序文のあと第1章天皇について第1条から第8条まで、第2章が戦争の放棄第9条、第3章国民の権利および義務が第10条から第40条まで第4章国会と続きます。機会があったらぜひ読んでみてください。

休憩を含め2時間45分少し疲れました。ラストシーンは動き回らず憲法を話した方がよかったと思いました。久々に公会堂のステージいっぱいに手の込んだ舞台造りもすごくよかった。（女性）

▼日系二世の軍人の生い立ちからと思われる民主主義の理想的な憲法作成「すべての国民は法の下…」凛として語りかける華子の姿に感動でした。この素晴らしい憲法を守り続けたい。（女性）

▼「斎藤憐」という作家、改めてすごいなあと思いました。朝鮮平壌生まれということも、闇屋権堂の動きで納得。芝居の中で憲法第14条が読み上げられる。「法の下の平等」80年たって今の日本、国民みんなが法の下の平等だろうか。（性別未記入）

【性別・年代未記入】

▼こんな演劇が観たかった！今観なければならない演劇だった本当に。歴史からしっかり学ばなければならないことを改めて実感。憲法は権力者が守らなければならない（立憲主義）、しかし守らないだけでなく変えようとしている。絶対止めよう！

編集スタッフから

公演一週間後に行われた感想会では、久々に10名以上の参加。『グレイクリスマス』の関心の高さを伺わせるものでした。感想会で生の声を発することも観劇の醍醐味。ぜひご参加ください。